

猪風来の縄文土鍋展

# 生命を抱く器たち



会期 2018年 12月1日(土)~2019年 2月24日(日)

寒い冬には、体を芯から暖めてくれる鍋が欠かせない。縄文時代からわたしたちの祖先は大自然の恵みを煮炊きして鍋とし、尊い生命を喰らい感謝と再生を祈るにふさわしい尊厳をもった入魂の器を創造してきた。一万年以上にわたり紡がれた世界に類例のない造形美を、わたしたちの魂は忘れていない。そうした“縄文の心”を現代の生活の中に甦らせるべく、新たな技法によって縄文造形をコンロで使用可能な鍋として実現した猪風来の縄文土鍋。スペインの釉薬技法を応用した金色に輝く色彩の器や、流れる文様が映える端整な白の景色の器など、縄文の心技と現代の技法が融合した究極の“美の器”。新作の創作縄文土鍋とその源流となった縄文野焼き土器など約40点を展示。どうぞご高覧ください。

【開館時間】午前9:30～午後5:00  
【休館日】月・火曜/年末年始(12/27-1/4)  
【観覧料】一般400円/高校生200円  
【アクセス】岡山から車で約90分  
岡山空港から車で約70分  
賀陽ICから車で約45分  
新見ICから車で約30分  
井倉駅からタクシーで約15分  
方谷駅からタクシーで約10分

猪風来美術館  
新見市法曾陶芸館

〒719-2552 岡山県新見市法曾609  
TEL・FAX 0867-75-2444  
<http://www.ifurai.jp/>

縄文野焼き技法の第一人者であり、現代縄文アートの創始者として知られる作家・猪風来(いふうらい)。猪風来美術館(新見市法曾陶芸館)では縄文野焼き作品をはじめ、法曾焼、絵画など、独自の縄文スパイラル造形による作品二百数十点を常設展示しております。

